

読書ノート

● ことはじめ 池内紀著
ア紀書房

娘家族の里帰り中、この本を読みながら開いて元気回復。面白く興味深いエッセイ。
「うるさい、せせら、しゃぶる、かいふれる……」
忖度、ボケと認知、終の住みか……
日本語の微妙な使われ方を知る。暮らしの中でも生まれ、引きかれ、人間関係をつなげてきたことは。消えていったことは“もう”。
今は、忖度、丁寧な説明、おもてなし、働き方改革、後期高齢者、認知症、スマホ、ハエル、アフリ、SNS……など首を傾げることよりもあふれている、一日中話すことがないといふ一人暮らしの人もまた多くなった。“ことは”をもう一度胸に置いてみよう。“ひとつ”が大事なのである。

● 港町純情シネマ 吉村信男著
創風社出版

著者は今治在住の知人、私と同年、今治を舞台にノンフィクションを取り入れた6つの短編小説、今治空襲で多くの電話交換手を亡くし、生き残った上司から語る「電話交換室」、戦後県内初めて今治に誕生した女性映写技師の映画への情熱と心の動きを書いた表題の作品、懐かしい今治の映画館、多くの名画が生まれたあの時代、遠い青春時代……。
主人公たちのひたむきで真摯な生き方に、失われていった大切なものを思う。

● 歌川広重 河出書房 ● 北斎への招待 朝日新聞出版
● 葛飾北斎 東京美術 図書館でどうぞ!! たのい! おれ!

わかめとじゃこの炒り卵 (明日の友)

(4人) 杉林さんからもらってきたてりいんじゃこで!

わかめ(もどり)40g 食べやすく切る。

しおゆ(けいしょ) 卵2個 割りほぐしたのに混ぜる。

さとう 小さじ2 塩1つまみ サラダ油小さじ2を熱して

てりいんじゃこ 粗めの炒り卵にし、取り出す。

大きじ2 サラダ油(分量外)を加え

長ねぎ20g 小口切り じゃこ、わかめの順に

色比利も 炒め合わせ、最後に炒り卵を加えてさらと混ぜる。

きりん 今治は雨が少す。

あちこち 大雨の 節水を。

被害大きい。 今治は雨が少す。

始まりました。

お弁当にちよさとう。

6/27 フィンランドの

家族が帰るとき、玄関前で写真

日本語学校へ行こう。

こうだったのは、土曜日は

終わると、こうだったが、サッと寄って

さし、私をキューっと抱きしめた。

思わず涙。GORIさんにもキュー。

日本語で語りかけて

本の読み聞かせもできてる。

ありがとうございます。

6/29~30 登高会 内子月見家一泊

11人 とくもろこし 自家鮮菜・米

せんせい ホタテ・おいきり 1kg、魚は

4kgさん

話題 認知症、介護、

内子・大洲 大雨、脾痛など特病。

大雨、内子家族、孫、娘、息子家族。

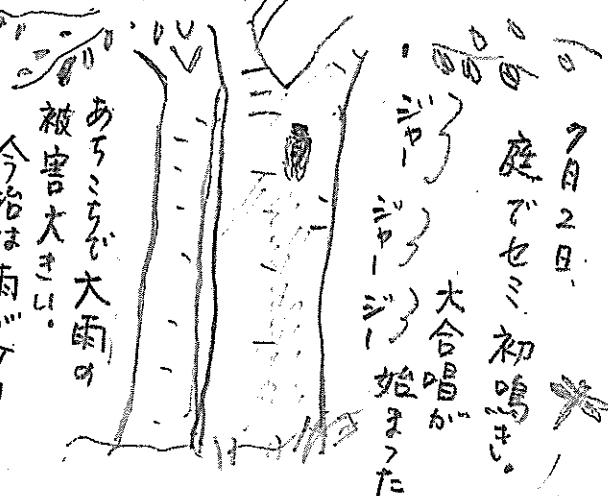
安倍政権、参院選、山の語少し。

みんな年とてきましたよ。

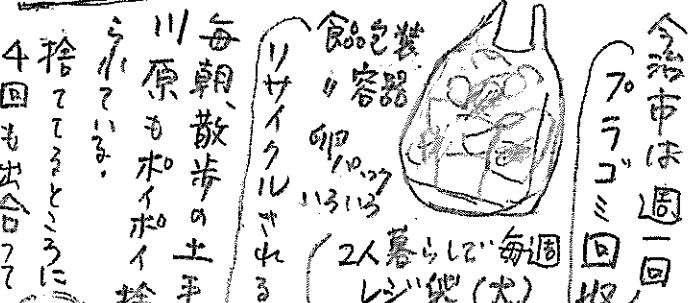
けやき通信

2019
7月
No.313

一錦織佳代子一



7月は週一回



2人暮らし毎週

レジ袋(大)

いつもいいになると、トレーは別。こんなくらしあそらしい

ナイロンタック、スキンシール

使っているとマイクロ

プラスチック

タオル類布

タオル類布

タオル類布

タオル類布

タオル類布

タオル類布